

心掛つて御水味におせよ。

おさしをせよ。疎麻の重くさるゝおさし手紙の録をすよよ  
前つて會社の醫局で給養すつて買つて出来る夫れ早手當せよ  
食膳を給ふ飯をさつておさしをせよ。諸君の工合の悲へお  
お味におせよ。疎麻の大廻不廻すよよ出る津波をへよ。常  
にお勤速に第一の資本をせよ。常にお疎麻の解と成難にお掛  
一懸つて良難の勤速お一人一番幸願つておせよ。おつて養願する人

一〇 御養願する心掛

津浦におよぶ御養願、甚烈にお井山様を支持すよよ。  
此の御せよ賜つて居難の手當を支持すよよ。

津波や其おせよ。おせよ。津浦の會社を甚難する御養願にお平常の  
一、平常の目のお會社の御養願つて人の中へおつてせよ。疎麻や、  
資金の平常の手當金を支持すよよ。

一、御養願の御其御養願つてお工および出願を養よお其御間

一、醫局では自費にて服藥治療する人に對し特に藥價を廉くしてあり  
ます。

一、職工の家族（必ず同居の人であつて既に會社に届出である者に限  
る）も本人と同様に廉い藥價で治療してあげます。

一一 社宅に居住する者の心得

一、職工の内て會社が必要と認められた人には社宅を貸與しますが總て社  
宅に住む人達は其住居を大切に扱つて貰はねばなりません、許可  
を得ずして勝手に構造を變更する事はなりません。

一、會社の社宅は家數も多く軒を並べて居りますから掃除を怠らず不  
潔にせぬ様に心掛ねばなりません。

一、社宅に居住する人の尤も心懸けて貰はねばならぬのは火の用心と  
傳染病患者を出さぬ事であり、若し間違ひてもあつた時は一  
同が迷惑するばかりでなく會社も大變に不利益を蒙りますから會  
社の命令は勿論其筋よりの指示をもよく守らねばなりません。